

15. 京都産業大学

テーマ	準正課・課外をする学生の成長実感調査に向けた試行的取り組み：質問紙一体型自計式フィードバックシート(SSG-7)の実施事例	
発表代表者	山野 洋一：京都産業大学 教育支援研究開発センター 事務室 職員	
連名発表者	梶浦 真琴：京都産業大学 文化学部 4 年生 伊藤 未侑：京都産業大学 文化学部 4 年生 笹中 紳之介：都産業大学 文化学部 4 年生 磯貝 瑛里：京都産業大学 教育支援研究開発センター 事務室 職員 杉江 芳隆：京都産業大学 教育支援研究開発センター 事務室 職員 津野 十紫：京都産業大学 教育支援研究開発センター 事務室 事務長補佐 山内 尚子：京都産業大学 教育支援研究開発センター 事務室 事務長 三田 貴：京都産業大学 教育支援研究開発センター 副センター長 佐藤 賢一：京都産業大学 教育支援研究開発センター センター長	
キーワード	準正課・課外	質問紙一体型自計式フィードバックシート
	成長実感とエンゲージメント	教員・職員・学生による FD/SD
発表の概要	筆者らは準正課などの課外活動をする学生の成長実感を測定する尺度(SSG-25)を活用し、教育実践での展開を行ってきた。さらに、本センターは、短縮版 7 項目成長実感尺度(SSG-7)、および短縮版の周囲の関与・学生生活の満足感・健康習慣尺度を活用し、教育実践での展開を目指している。SSG-7 と関連尺度は全国 2310 名の大学生を対象にした調査で、信頼性・妥当性が確認されており、質問紙とフィードバックシートが一体化した自計式になっていることが特徴である。今回は試行的に準正課・課外活動等を行う大学生 3 名に使用した。その結果、「自身の状況を把握できる」等の内省報告を得た。一方で、詳細な成長実感や周囲の関与の程度の把握には SSG-25 が優れている。SSG-25 と SSG-7 を使い分けることで、目的や状況に合わせたアセスメントが可能となる。シートの使用感の詳細は当事者の学生から報告を行う。	